

1
18

願いを込めて ひなをつくる 氏子会館

3月5日(日)に行われる大竹の伝統行事「ひな流し」に向けて、青少年育成市民会議のメンバーが、3,000個のひなの頭を作成。子ども達の幸せを願い、一つ一つ丁寧に丸められていた。(関連記事20ページ)



(右) 紙粘土で作られたひなの頭。色紙で色鮮やかに飾り付けられ、わらを編んで作る「さんだわら」に乗せる。



(左・下) 大粒でプリプリした身のカキ。来場者は焼きたてをおいそうにほおぼった。



(下) 焼きカキを求めて多くの人が並んだ。次々とカキが焼かれ、会場は香ばしいにおいに包まれた。



おおたけ自慢の海の幸

晴海臨海公園

1
22

第16回おおたけカキ水産まつりが開催され、市内外から約1万人が集まった。会場では焼きカキやあたたかハマチtoレモンの刺身が無料で振る舞われたほか、カキ飯や焼き穴子なども販売され、訪れた人は大竹の新鮮な海の幸を満喫した。

また、ステージでは太鼓演奏や歌手によるライブ、カープの選手によるトークショーなどが行われ、会場を大いに盛り上げた。

(右) あたたかハマチtoレモンの刺身は、小さな子どもでも食べやすいと大好評。2,000食分用意され、多くの人が旬の味覚を堪能した。



(下) ステージで行われたじゃんけん大会で見事景品をゲット。満面の笑みがこぼれた。



その他の写真はこちら
(市ホームページ
→大竹市の魅力いっぱい
→大竹市の紹介
→おおたけ写真ギャラリー)



2
12

冬空に舞う 手作りたこ

晴海臨海公園

手作りたこあげ大会が開催され、33人の参加者が思い思いにイラストなどを描いた手作りのたこを持ち寄った。子どもたちは気まぐれな風に苦戦しながらも、保護者と一緒になってたこあげを楽しんでいた。



(左・下) 親子で協力してたこあげに挑戦。たこが風に乗って空高く上がると、大きな歓声が上がった。



(右・下) 形やデザインが1つ1つ違う、自分だけのオリジナルのたこ。

